

6 / その他の取組

(1) その他の取組

鋼索線(石清水八幡宮参道ケーブル)の安全対策

鋼索線は鋼索(ワイヤロープ)に繋がれた車両(ケーブルカー)を巻上装置で巻き上げて運転する仕組みになっています。

そのため、運転士は山上側にある運転室で巻上装置の操作を行い、車掌はケーブルカーの車内に乗務し、運行中の前方確認や扉操作を行います。

このように運転士が車内にいないことや急勾配で運転するため、特にロープの点検・整備には細心の注意を払い安全の確保に努めています。

▶ 鋼索線事故想定訓練

不測の事故・トラブルに備え、お客さまの避難誘導や連絡系統を確認する訓練を実施しています。2025年度は12月に実施しました。



ひらかたパークの安全対策

当社が運営する「ひらかたパーク」では、鉄道技術部門が安全性を確認し、一部の遊戯機のメンテナンスを寝屋川車両基地で行っています。鉄道会社直営の強みを活かし、高い技術レベルで遊戯機の安全を支えています。



サイバーセキュリティ

2026年度の鉄道事業法施行規則改正に先立ち、2023年度より「列車運行管理」「電力管理」等の重要システムで外部リスクアセスメントと技術的対策を実施し、堅牢性を向上させています。今年度は新たに「列車制御」「信号制御」「踏切制御」の各システムへ評価対象を拡大しています。また、サイバー攻撃を想定し、国土交通省や警察等との迅速な情報連携体制を構築しています。

非常時支援活動用ワッペン

当社社員が私服で当社線を利用中に事故・災害などの非常事態に遭遇した際、このワッペンを着用し、支援活動を行います。鉄道従事員であることを周囲に明示し、円滑な支援活動ができるよう備えています。



(2) 安全投資

2025年度は、鉄道設備投資(実績額)157億円のうち92億円を安全関連設備に投資し、13000系車両新造、可動式ホーム柵整備、7000系車両改修などを実施しました。

2026年度は、運転保安度の維持・向上やお客さまのサービス向上などを目的として、総額約182億円の鉄道設備投資を行います。そのうち、約120億円を安全関連設備に投資し、引き続き13000系車両新造、レール削正車更新、可動式ホーム柵整備などを実施する予定です。

なお、2025年10月からの運賃改定の実施に合わせ、2023年度から導入した「鉄道駅バリアフリー料金制度」は廃止しましたが、可動式ホーム柵やモニター付きインターホン等のバリアフリー設備の整備は引き続き実施いたします。

2025年度の主な実績

- ・13000系車両新造
- ・可動式ホーム柵整備(祇園四条駅)
- ・橋本変電所建替更新
- ・10000系、13000系ワンマン仕様統一
- ・7000系、7200系車両のリニューアル
- ・木津川橋梁洗掘対策

2026年度の主な計画

- ・レール削正車更新
- ・13000系車両新造
- ・可動式ホーム柵整備(寝屋川市駅)
- ・橋本変電所建替更新
- ・10000系、13000系ワンマン仕様統一
- ・7200系車両のリニューアル
- ・木津川橋梁洗掘対策